

市全体で節水に取り組みましょう

市内の地盤沈下の原因は、消雪パイプの使用による地下水位の低下です。地盤は沈下すると、完全には元に戻りません。市内の井戸の本数は年々増加しており、地下水の汲み上げ量も増加しています。一人ひとりが節水意識を持ち、散水を必要最小限にしましょう。

地下水を必要以上に使わない

降雪検知器や消雪パイプノズルの点検・調整を行い、無駄な運転や不要な散水の削減に努めましょう。

早期に散水を中止しましょう

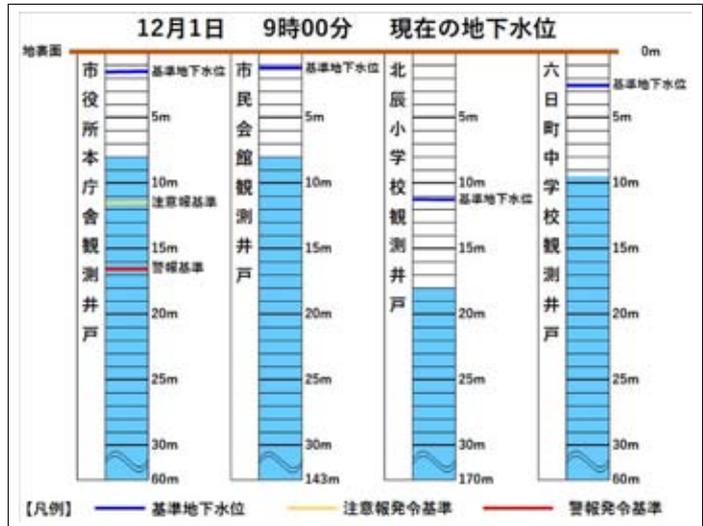
2月中旬以降の温暖期に入り、建物の保全に影響しない程度であれば散水をやめましょう。

地下水だけに頼らない

消雪パイプと人力による除雪を併用することで、融雪効果は上がります。こまめに雪かきをしましょう。

地下水位などの情報

基準地下水位（11月30日 午前9時）と比べた水位を、12月1日(木)から市ウェブサイトで公表しています。QRから確認できます。



※市ウェブサイトで順次公表します

下水道を正しく使いましょう

冬期間は、排水管の詰まりなどにより汚水が逆流してあふれるなど、下水道のトラブルが頻発します。下水道は利用するみなさんの公共の財産です。一人ひとりがルールを守って、下水道を正しく使いましょう。

水に溶けないものを流さない

水に溶けない紙類（除菌シートやウェットティッシュなど）やタオルなどを流すと、ポンプの詰まりの原因になります。

食用油などを流さない

天ぷら油などの食用油は排水管の中で冷えて固まり、詰まりの原因になります。紙や布に吸わせるか、凝固剤を使って燃えるごみで出しましょう。

※各庁舎では毎月第4木曜日に、不燃ごみ処理施設では日曜・祝日の午後と1月1日～3日を除く日に廃天ぷら油の回収を行っています。ご利用ください

グリストラップの清掃は定期的

飲食店などには、油分を分離させるグリストラップが設置されています。グリストラップの清掃が不十分だと油分で下水道管が詰まり、清掃代などは原因者の負担になることがあります。グリストラップは定期的に清掃しましょう。

排水管やマスの破損に注意

ひび割れなどを破損したままにしておくと、雨水や異物の流入、詰まりや事故などの原因になります。特に冬期間は、大量の雪解け水や消雪パイプの水が排水管に流入する可能性があります。マスなどの破損を見つけたら、指定工事店か下水道課にご相談ください。



ひび割れて交換が必要な公共マス